

# 大谷信介教授



**現職：** 関西学院大学 社会学部 教授  
社会調査協会 副理事長・資格認定委員長  
日本学術会議 第23期連携会員・社会学委員会（社会統計アーカイブ分科会委員）

**略歴：** 1955年 神奈川県横浜市生まれ  
横浜翠嵐高校・筑波大学社会学類・筑波大学大学院社会学研究科を経て  
1995年 社会学博士（筑波大学）  
1984年 松山商科大学人文学部専任講師  
1990-1991年 カリフォルニア大学バークレー校社会学部（客員研究員）  
1993年 松山大学教授 1994年 桃山学院大学社会学部教授を経て 1997年より現職  
2002年 カナダ・トロント大学 都市コミュニティ研究センター（客員教授）  
2012-13年 ベルギー・ルーヴェン・カトリック大学 建築・都市計画学部（客員教授）

**最近の主要活動：**

**【学会活動】** 2012-15年 日本社会学会 理事 社会学評論編集委員

**【政府関係委員】** 2013-15年 内閣府大臣官房広報室世論調査に関する有識者検討会委員  
2010年 内閣府大臣官房広報室 政策評価委員

### 競争的資金：

- 2016年～2020年 科学研究費〔基盤研究(A)〕 研究代表者 大谷信介  
「政策形成に貢献し調査困難状況に対応可能な社会調査方法の研究」
- 2005年～2008年 科学研究費〔基盤研究(A)〕 研究代表者 大谷信介  
「危機的調査環境下における新たな社会調査手法の開発」
- 2003年～2004年 関西学院大学21世紀プログラム「人類の幸福に資する社会調査の研究」  
指定研究代表者 大谷信介「関西ニュータウン比較調査研究」
- 2002年～2003年 科学研究費〔基盤研究(A)(1)〕 研究代表者 細谷昂  
「社会調査の教育と実践化についての総合的研究」研究分担者
- 2000年～2003年 科学研究費〔基盤研究(B)(1)〕 研究代表者 大谷信介  
「実践的社会調査教育方法構築のための実証的研究」
- 1998年～1999年 科学研究費〔基盤研究B・1〕 研究代表者 越智昇  
「都市化とボランティア・アソシエーションの実態に関する社会学的研究」研究分担者

### 主要著書：

- 大谷信介他編著『グローバル化時代の日本都市理論～鈴木栄太郎「都市社会学原理」  
を読み直す』ミネルヴァ書房 2015年
- 大谷信介他編『新・社会調査へのアプローチ～論理と方法』ミネルヴァ書房 2013年
- 大谷信介編著『マンションの社会学～住宅地図を活用した社会調査の試み』  
ミネルヴァ書房 2012年
- 大谷信介『<都市的なるもの>の社会学』ミネルヴァ書房 2007年
- 大谷信介他編『社会調査へのアプローチ～論理と方法(第2版)』ミネルヴァ書房 2005年
- 大谷信介編『問題意識と社会学研究』ミネルヴァ書房 2004年
- 大谷信介編『これでいいのか市民意識調査～大阪府44市町村の実態が語る課題と展望』  
ミネルヴァ書房 2002年
- 大谷信介『現代都市住民のパーソナル・ネットワーク～北米都市理論の日本的解読』  
ミネルヴァ書房 1995年

### 社会調査関連の研究論文：

- 大谷信介 2016「都道府県庁における県民意識調査の実態と職員研修の現状—長崎県・  
愛媛県・兵庫県の事例を中心として」『社会と調査』17号 社会調査協会
- 大谷信介 2015「政府・地方自治体の政策立案過程における<社会調査>の役割—統計行政を  
踏まえた社会学からの問題提起」『社会学評論 262』66(2) 日本社会学会.
- 太郎丸博・大谷信介 「特集:社会学は政策形成にいかに関与するか」によせて」  
『社会学評論 262』66(2) 日本社会学会
- 大谷信介 2014「社会調査をとりまく現代的諸問題」

社会調査協会編『社会調査事典』丸善出版

大谷信介ほか 2010「特集 回収率を考える」『社会と調査』第5号 社会調査協会

大谷信介 2010「住宅地図を使ったサンプリングの可能性:高松市住宅地図分析」

『松山大学論集』21巻4号 2010年3月

大谷信介 2008・9「市民意識調査の再構築①-⑦」

『地方自治 職員研修』41巻9号(577号)-42巻3号(584号)

大谷信介 2008「『世論調査』の問題状況と社会調査士制度」

『社会と調査』創刊号 社会調査士資格認定機構)